

Weekly Report

2023-24



世界に希望を生み出そう

創立 / 1965年6月25日
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
 会場 / 江南商工会館11F大ホール
 江南市古知野町小金112
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館11F
 TEL / 0587-55-6554
 FAX / 0587-59-7720
 URL // <http://www.konan-rc.com/>
 Mail // konanrc@beach.ocn.ne.jp
 会長 / 富田清孝 幹事 / 木本寛 会報委員長 / 山崎博征



2024年(令和6年) 4月18日(木) 晴れ 第2795回(当年度第29回)例会

点鐘
 司会
 国歌斉唱
 ロータリーソング斉唱
 四つのテスト斉唱

会長 富田 清孝君
 SAA 濱島聡一朗君
 「君が代」
 「奉仕の理想」
 濱島聡一朗君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶



会長 富田 清孝君

こんにちは、有志15人で13、14、15と台湾に行つてまいりました。13日に潮州ロータリークラブを訪れ大変な歓迎を受けました。今回、台湾東部沖地震のお見舞いを持って行くという目的もありましたが、姉妹クラブの歓迎ぶりには驚かされます。今回は観光の中で片平さんの案内により、高雄市内にある保安堂と台南市にあります飛虎將軍廟(ひこしょうぐんびょう)を訪れたことが一番印象的でした。二つとも日本人が神として祭られています。日本人がこの様に大切にされているのを見ると何か胸が熱くなる思いがして、ますます台湾の人たちの事が好きになります。この二つの場所については5月にある創立記念例会の中で片平さんに話してもらいます。3時間熱く語りたいて言ってみますので又宜しくをお願いします。このような姉妹クラブがありますと付き合いが大変だと思う反面、良いものだなとも思います。来年は又皆さんで行きましょう。それでは今日も宜しくお願いします。

ゲスト及びビジター紹介



(学)愛知江南学園理事長 伊藤 由香様
 ようこそ江南ロータリークラブへ

出席報告 例会運営委員会委員 伊藤 かね子君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
49名	35名	14名	71.42%

ニコボックス 例会運営委員会委員 伊藤 かね子君

○地区研修・協議会報告 報告者の皆様、よろしくお願
いいたします。伊藤 由香様、ようこそ江南ロータリーク
ラブへ

富田 清孝、波多野 智章、木本 寛、三輪 慎一郎君

○家内が元気に69才の誕生日を迎えました。

愛知江南学園の伊藤理事長の入会を心から歓迎し
ます。

台湾旅行では、お世話になりました。

倉知 正憲君

○前回の例会では、誕生日を御祝い頂き誠にありがと
うございました。

祭礼では脇人の会員は「筋肉痛」我々還暦は「腰痛、
関節痛」でした。

秋本 哲一君

○地区編集協議会第6分科会の報告をさせていただきます。

猪子 明君

○奉仕プロジェクト常任委員会の地区研修・協議会報
告させていただきます。宜しくお願いします。

中村 耕司君

○本日、地区研修・協議会の報告をさせていただきます。
よろしくお願ひいたします。

濱島 聡一朗君

○江南市制70周年記念発売のガチャガチャに参加し
ました。

伊藤 かね子君

○本日の卓話 地区研修・協議会報告よろしくお願ひ
致します。

(学)愛知江南学園 理事長 伊藤 由香様

ようこそ江南ロータリークラブへ！

松岡 一成、庄田 元久、杉浦 賢二、堀尾 庄一、
岩田 静夫、長瀬 晴義、南村 朋幸 各君

卓話

「地区研修・協議会報告」



次年度 会長 南村 朋幸君

地区研修・協議会に参加して

過日4月7日(日)、春の到来を感じさせる穏やかな気
候の中、ちょうど桜が満開に近い時期も相まって世間
では御花見ムード真っ盛りといった日に、地区主催の
研修・協議会に行っていました。

約1,800人と多くの登録者を有する会なだけにとて
もボリュームな会でありました。

昨年に引き続き名古屋 Marriott アソシアホテルを会
場として、昨年の経験を踏まえたうえでの設営であつた
からか、運営もとてもスムーズであつたように感じまし
た。ホスト役が名古屋錦ロータリークラブということで、
地区に精通している方が沢山お見えになるクラブとは
いえ、30名強の会員数でのホスト役はさぞ大変であつ
たであろう想像ができます。

それぞれの分科会のお話は後ほどとして、設営として
二点気になった部分がありました。それは、会場キャパ
の関係で致し方ないことなのかもしれませんが、本会
議から分科会、そしてまた本会議のスケジュールリング
の為、会場の転換の為に一旦全員が会場外で待機しな
くてはならないという一幕がありました。その転換待機時
間が意外に長く感じた為、何かしら友愛のティータイム
など有効な時間消化方法があれば良かったと感じた事
と、また分科会後の本会議では一旦外での待機時間
があつたが為に帰りたい方に絶好の機会を与えてしま
い、最終の本会議ではやはり人数が激減し疎らな着席
状態となっていました。このあたり、今後の地区の課題
として申し継がれていくことと思います。

もう一点。特別講演としてラーニングファシリテーター
である2750地区のバスターン 服部陽子様のご講
演がありました。しかしながらこの方は先日のIMでもご
講演賜っていたので、私たち東尾張分区としては二度
目の拝聴となりました。再度擦り込みという点では二度
ほぼ同じ話をお聞きするというのもアレだとは思
いますが、やはり新鮮さに欠けるのは否めないことであ
つたように思います。地区協ホストクラブとガバナー補
佐事務所との情報共有があれば回避できたように思
いました。

さて、肝心の分科会ですが私は会長エレクトとして、第
1分科会に出席してまいりました。来年度に向けた戦略
計画の重要性やクラブセントラルの登録要請、伊藤靖
祐さんが委員長を務めるRFFについてのお話、その他
委員会からは危機管理における留意事項について、地
区防災委員会からは私の後任にあたります、伊藤満琉
委員長予定者からのお話があり、会員増強委員会から
も増強について興味深いお話も賜ることが出来ました。

総じてまとめれば、今年の酒井ガバナーも申されてい
ましたが、来年度はRIとして大きく様変わりする年にな
るそうです。

RIとして重点的に推進していくのは、増強、公共イメ
ージ、そして財団への寄付です。細かな点はたくさんあ
りますが、やはり力を入れて取り組むよう推奨している
のはこの3点のみです。ここに、RIの今後の進むべき
方向が表れているように思います。

そして、大きく変わる点と言えば、まずは従来からの
「研修」トレーニングから自ら学ぶラーニングへと移行し
ていき、組織的に今までであった研修委員会等が全てラ
ーニング委員会へと名称が変わります。また、3イヤ
ーローリングターゲットと言って、いわゆる3年越しのク
ラブ計画を強く推奨されています。これについても既にク
ラブセントラルなどを通じて、向こう3年間の目標とク
ラブ計画を明確に文章化するよう指示が来ており、ブツ
切りの単年度制の概念が少し様変わりしていくように
思います。そのような事から、来年度の江南クラブの組

織図では、クラブ戦略特別委員会として会議を定例化し、会長エレクトとやがて決まるであろう会長ノミニーにも委員として配属させていただいております。

また、クラブにおいても大きく変えようとしている点がございます。もちろん、これから理事会等で議論を尽くしていくのですが、実は来年度から例会時の服装の自由化を発信しようと考えています。とあるメンバーから現場仕事から例会に駆け付ける為に、車の中でスーツに着替えて例会に来ているという話を聞きました。こういった事を少しずつ変革し、これからの江南ロータリークラブのあるべき姿を見据え、時代にマッチした楽しいクラブを作っていきたいと思っています。

最後にPETSにて仰られた酒井ガバナーのお言葉を引用して結びとしたいと思います。

「続けるために変わるのだ！」

ご清聴ありがとうございました。



次年度 公共イメージ向上常任委員長 濱島聡一郎君

次年度公共イメージ向上常任委員長を拝命いたしました濱島です。

4月7日に開催されました地区研修・協議会のご報告をさせていただきます。

全員を対象にした本会議の後に、私は第三分科会に出席しました。こちらの分科会では「ロータリーの公共イメージ向上について」というテーマのもと、主な内容としてロータリー公共イメージについて、My ROTARYの登録と活用、ロータリーの友についての三項目に分けた研修と、残りの時間でグループディスカッションが行われました。

日本人の美徳としての風潮から、これまで広報や宣伝活動といった類の分野はあまり重要視をされていませんでしたが、昨今のRIでは会員増強を目指す上でも、公共イメージの向上という点が非常に重視されるようになっております。ロータリーの活動がいかに有意義で高潔であるかを世の中に発信し、それによって我々もロータリーに誇りを持ち、ロータリーをより好きになるという好循環が形成されます。江南ロータリークラブにおいても次年度には新たなホームページが公開される予定ですが、SNSやメディアを有効に活用し、より多くの方にロータリーの活動が認識されることを目指していきます。

次にMy ROTARYについてですが、こちらも非常に重要なツールとして世界中の会員に利用されております。会員個々のロータリー歴や様々な活動を記録できるだけでなく、多くのカテゴリーに分類されたラーニングツールを活用することで、ロータリーに関する知識を深めることも可能です。しかしながら、酒井ガバナーが本会議

の際にロータリーセントラルにクラブ目標を設定していないクラブが半分近くあることを嘆いていたことも含めて、会員の登録が思ったほど進んでいない現状を非常に問題視されておりました。4月1日時点で2760地区の登録率は約53%と低迷しております。3月20日の段階で江南ロータリークラブの個別の登録状況を調べたところ、48名のうち27名の登録で、残念ながら登録率は56%と決して良い値ではありませんでした。次年度会長の南村さんから全員登録をお願いしたいとのご依頼があり、現在江南ロータリークラブの全員登録に向けて準備を進めておりますので、できましたら未登録の方は本日中にでもMy ROTARYへのご登録をお願いしたいと存じます。

最後にロータリーの友についてですが、こちらも現在は電子版という大変便利な電子書籍が利用可能になっていることを紹介されました。1953年1月の創刊号から雑誌間検索を可能にしたデジタルアーカイブが2022年度より利用可能になっておりますので、こちらにつきましても利用の促進をしてほしいとの依頼がありました。情報の整理、検索、閲覧、共有という基本的な機能が非常に高いレベルで利用可能になっております。

どれも非常に重要な項目ばかりで、今回の研修では全てを深掘りする時間がないほどの濃密な内容でしたが、次年度が開始いたしましたら例会の時間やクラブフォーラムの卓話の時間をいただき、詳細な部分につきまして再度内容を吟味した上で、皆さまにご説明やお願いをさせていただきたいと存じます。



次年度 奉仕プロジェクト常任委員長 中村 耕司君

テーマ: 成長するロータリー・奉仕の力

次年度、奉仕プロジェクト常任委員長を仰せつかりました中村耕司です。

私は、第4分科会の奉仕プロジェクト・国際奉仕部門に参加しましたので報告します。

分科会テーマは「成長するロータリー・奉仕の力」です。まず、次年度は江南ロータリークラブ60周年記念事業として、布袋駅のトコトコラボにて 地域の外国籍の方々をお招きして、キッチンカーなどで食事しながら交流を深める事業を予定しています。その事業に類似する他クラブの活動が岡崎城南RC筒井健さんより報告がありましたので報告します。

最近の地区の国際奉仕委員会では、「国内でもできる国際奉仕活動」にも注力していて、岡崎城南RCが岡崎市内の広場に外国人のキッチンカーを集めて、地域の外国籍の方をお招きして、各国の民謡ダンスやお酒を飲みながら交流を深められたそうです。

予算はなんと24万円でした。
市役所や国際交流協会とのコラボ企画で開催されました。

また、国内で開催する意義と課題としては、

- 外国人の運転免許取得
- 外国人の飲食業許可取得(店舗・移動販売)
- 公共施設の利用ルール(ごみ捨てルールなど)
- 災害時の対応(避難所の場所、救援物資の配給到着日時など)
- 自治体や学校でのコミュニケーション
- 就労活動

を挙げていました。

次年度も8月12日(祝)岡崎市民会館にて国際交流フェアを開催予定だそうです。

今後、必要があれば岡崎城南RCから開催ノウハウをお聞きすることもできると思います。

更に他の活動としては、次期国際奉仕委員長 渡邊寿也(すみや)さん 並びに 同副委員長 伊藤幸蔵(こうぞう)さんより、報告がありました。

コロナ中は海外に行けなかったが今年はラオスに給水設備設置、並びに 給水設備の維持管理方法の教育を実施し、安心して飲める水の提供をしました。その恩恵として子ども達が水汲みの時間から解放され学校で勉強する時間が取れるようになりました。

他には、マシン提供し刺繍ができる様になり、オンライン販売して、学校の運営費に充てられるようになりました。

地区補助金は66クラブから申請を受けていて20クラブが申請していない状況だそうです。

また、国際奉仕の資金集めの手段として例会中に「テーブル・フォー・ユー」と題して各テーブルに小銭を入れる募金箱を設置し、お財布なかの小銭を集める活動が披露されました。(ニコボックスの資金は使いにくいので有効)

以上、参考になる有意義な情報を教えて頂きましたので、次年度奉仕プロジェクト活動に生かしたいと思えます。



次年度 社会奉仕委員長 駒田 洋平君

次年度社会奉仕委員長の駒田です。第5分区について報告させていただきます。

次年度会長の考えとして「ティーチングではなくラーニングにしたい」との事での配分としては「リーダー挨拶から10人ほど挨拶で「40分」、研修で「10分」ディスカッションによる質疑応答の時間で「40分」合

計1時間30分です。

「環境保全について、例えばホテルなどの環境保全や清掃活動についてインターアクト、ローターアクトを巻き込んだ活動をすると「ゴミ拾い一つとってもダイバーシティにつながるのだぞ」と次期社会奉仕副委員長の片平さんが挨拶されていました。

次期RI事務局の考え方として「社会奉仕委員会の中に、職業奉仕委員会がある」とのことで「職業を通じて社会奉仕してね」ということ。では「職業奉仕」とは何か？

今年度の2760地区の職業奉仕委員会では「4つのテストに照らし合わせた会社案内を推進すること」だと考えられたそうです。

皆さんの会社にはホームページはありますか？そこに「社是や経営理念、経営方針」などは掲載されていますか？そこに「言っていること」と「やっている事」は体現できていますか？要するに「真実かどうか、を世の中にさらしましょう」という事です。

有名企業「イオン、京セラ、本田技研」のホームページで真実かどうか、②みんなに公平化、③好意と友情を深めるか、④みんなのためになるか。の例が紹介されていました。

次に次年度地区職業奉仕委員会 活動方針として主に2つ紹介がありました。

- ① クラブの職業奉仕委員長ご自身が自クラブで卓話ができるようにサポートしていくとの事です。
- ② 「4つのテストを実践して経営している会社」を見つけ出し地区委員会会議にて発表して頂くことで、2760地区全体に発信していく。

という事です。

後半は10名ほどの「グループディスカッション」をしました。

内容は、「自己紹介と各クラブの社会奉仕の取組」について一人ずつ3分程度で発表がありましたので3つほど紹介します。

- ① 一宮中央RCでは「青少年のサッカー大会を継続事業として行っており地区の補助金を使っているとの事です。」
- ② 半田RCでは「RCCとして不登校の子供への取組」やゴミ拾いで2つのクラブ合同でやったとの事で、片平さんが言われていた清掃活動でローターアクトやインターアクトを巻き込んで環境保全をしている事例はこのことかなと思いました。
- ③ 高浜RCでは 交換留学生を毎年受け入れているとの事でした。今年も2人受け入れているそうです。

その後、発表に対して質疑応答の時間がありましたので、私が高浜RCの方に「江南で久しぶりに一人交換留学生を受け入れているのですが、「受け入れ先の家族や学校はどうされているのですか？」と質問したところ「うちで受け入れてもいいよ！」と手を挙げる家が多く、英語を話せる人が割と多いそうです。やはり学校選びは多少苦勞するそうですが、「文化」としてあるそうです。

本会議の特別講演で講師の方が話されていた「文化」がここにあるなと思いました。

それぞれのクラブの話の聞いているうちにマズローの欲求5段階説を思い出しました。

一般的には、一番上が「自己実現」ですが、実はマズローの説には6段階目があり、

「自分だけではなく、他の人々も豊かにしたい」があるそうですが、

私たちロータリアンの想いはここにあります。 以上



次年度 ローターリー財団常任委員長 猪子 明君

ロータリー財団常任委員長の猪子です。地区研修協議会では第六分科会に参加し90分間しっかり勉強させていただきました。この分科会のテーマは「ロータリー財団を学ぼう」であります。冒頭に高山景一ロータリー財団委員長より、「それぞれのクラブで皆さん本人がロータリー財団のクラブフォーラムの卓話者となられるよう学習してください。そのためのセミナーを準備しています。」とプレッシャーをいただきました。

田中一成ポリオプラス委員長からは、「ロータリーは毎年5,000万ドルを拠出目標にし、ビル&メリンダ・ゲイツ財団から2倍の1億ドルが上乘せされている。そのお金はワクチンそのものだけでなく、情報資料の作成配布やボランティア動員に使われています。今年の三カ月にパキスタンにて、2名の症例が判っております。」と伺いました。

長瀬廣幸グローバル奨学生・平和フェロー委員長からは、「このプログラムは、海外の大学院でロータリーの重点分野のいずれかに該当する方を対象とした、返済不要の奨学金を給付するものであり、2760地区からは昨年二人の大学院生が重点分野「疫病予防と治療」にて2年間62,100ドル、重点分野「平和構築と紛争予防」にて一年間41,400ドルの奨学金を受けています。日本では、過去に累計39名、2760地区では5名の奨学生を出しています。」と伺いました。

藤野直子補助金委員長からは、「今年の地区補助金申請は、84クラブ中66クラブ(内6RAC)から出ており、グローバル補助金は、3クラブが実行中、4クラブが申請予定です。この地区補助金の財源は、それぞれのクラブからの三年前にいただいた年次基金の23.75%を財源としております。」と伺いました。ちなみに当江南ロータリークラブは、プロジェクト名「W&A フードフェスティバル in 江南布袋」として2,517ドルの地区補助金を申請しております。

宮田勇人資金推進委員長からは、「ロータリー財団への寄付の分類として、年次基金・ポリオプラス・恒久基金・その他の基金とがあり、恒久基金は元金の使用はせず、その運用益のみを地区と財団で活用していて、ロータリー財団の支出は、ポリオプラスが46%、グローバル補助金が16%、地区補助金が8%であり全体の7割を占めています。」と伺いました。

佐野彰彦ロータリー財団副委員長からは、「ロータリーカードは、カード利用金額の0.3%がポリオ根絶支援につながるのぜひロータリーメンバーであるなら1枚作っていただきたい。特にクラブで利用するカードは是非作ってほしいとのことでした。ちなみに、江南ロータリー

ーでは、クラブカードは本会計口座用と補助金事業専用口座用の2枚作られており、個人では4名の方が作られております。

鈴木康夫ロータリー財団会計長からは、「年次基金お一人150ドル以上(江南RC76.2ドル)、ポリオプラスお一人30ドル以上(江南RC1.54ドル)、恒久基金1,000ドル以上(江南RC0ドル)、ポール・ハリス・ソサエティ1名以上(江南RC1名)、ポリオ・プラス・ソサエティ会員の5%以上(江南RC1名2%)をお願いしたい。」と伺いました。

この分科会にて勉強したことを私なりにまとめますと、委員長所信といたしまして、ロータリーの7つの重点分野は「平和構築と紛争予防」「疫病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「地域社会の経済発展」「環境」であり、それを達成するためにロータリー財団は存在し、様々なプログラムがあります。ロータリーの会員は会費を通じて国際ロータリーを支援し、寄付を通じてロータリー財団を支援します。その重要性に理解を深め、ロータリー財団、米山奨学会を支援する活動を実施したいと思います。

計画要項といたしまして、ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困を無くすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにする事です。ロータリー財団委員会はロータリー会員にそのことへの理解を深める活動を推進します。

1. 年次基金一人\$150、ポリオプラス基金一人\$300の寄付を目標とする。
2. クラブでベネファクター1名もしくは恒久基金\$1,000以上の認証をめざす。
3. ロータリーカードの会員普及に努め、その役割や理解を深める。
4. 財団からの補助金の内容を深く認識し、クラブで行う事業活動に活用するよう努める。

以上このようにクラブ計画書に提出し、記載したいと考えております。

食 事



会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら

※初めてのの方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら

写真等ございましたら会報までお知らせください。
(担当 田岡 剛)